



# セメント工業株式會社

路面鋪裝用  
室内床張用

セメント製壓搾敷瓦

其他セメント加工品各種

東京市深川區東扇橋町三十二番地

電話本所長三八三二番

アスファルト用

## 寒水石粉

生産額一日百噸  
質最優價額至廉

各種石粉。各種石碎製造

東京市深川區東扇橋町卅二番地

## 旭礦末資料合資會社

電話本所三八二番

工場所在地

第一工場 茨城縣下孫前  
第二工場 茨城縣大甕前

◎工場ニ於ケル所用機械ノ重ナルモノハ左ノ如シ

一 シヤレートリクラツシヤーークラツシングロール

一 スチールボールミル  
一 エイヤセバレーター

自大正十四年一月  
至同年十二月

# 道路の改良

第七卷

道路の改良第七卷總目錄

(自大正十四年一月  
至同年十二月)

卷頭語

大正十四年を迎ふ

論說

迎年の辭

東京市の交通機關と地下鐵道

道路政策の確立

聯絡の缺けた道路政策

大都市街路の鋪裝費負擔に就いて

自動車交通と道路

何としても復活したい道路補助計畫

理想的山嶽自動車道路の開鑿

道路改良會會長 水野鍊太郎

東京地下鐵道株式會社  
專務取締役 早川徳次

陸軍中將 筑紫熊七

衆議院議員 堀田義次郎

法學博士 渡邊鐵藏

早稻田大學教授 島田孝一

衆議院議員 大口喜六

林學博士 田村剛

號數 頁數

一 二

一 四

一 九

二 二

三 二

四 二

四 一〇

五 二

五 五

一

道路改良と交通道德

思想上より觀たる道路改良問題

道路幅員が貨物自動車運賃に及ぼす影響に就いて

道路改良の經濟的意義

道路 觀

道路と風致の問題

自動車道路並日米道路經濟に就いて

都市郊外の發展と道路の改良

現内閣の道路政策

道路の維持に就いて

時 論

孤城落日の土木費

乗合自動車營業濫許呪咀の嘆聲

講 演

道路改良會の使命

道路工事の執行に就いて

道路改良會理事 桐島 像 一

海軍中將 佐藤鐵太郎 六

東京市道路局技術長 近 新三郎 七

道路改良會理事 松木幹一郎 七

道路改良會評議員 矢野亮 一

三井地所部長 田 村 剛 九

林學博士 田 村 剛 九

內務省土木試驗所長 牧野 雅樂之丞 九

陸軍中將 谷田繁太郎 一〇

道路改良會理事 比田孝一 一〇

線延削滅居士 一

一 記 者 一

道路改良會會長 水野鍊太郎 八

道路改良會理事 長岡隆一郎 一〇

社會局長官 九

道路政策

鐵道と道路の改良

道路雜觀

小運送と道路

倫敦の交通概觀

市街地路政改善私議

善道惡道

人道橋用桁及結構應力計算法に就いて

アスファルトプラントに就いて

軌道建設と近代道路

市街地路政改善の一提案

煉瓦鋪裝に就いて

談叢

研究

道路改良會理事 堀切善次郎  
神奈川縣知事  
道路改良會理事 中川正左  
東京地下鐵道 株式會社副社長

貴族院議員 林博太郎  
文學博士伯爵  
鐵道公認運送組合 中野金次郎  
中央會會長  
內務事務官 武井群嗣

復興局書記官 菊池慎三  
××新聞記者 藤尾哲  
名古屋高等工業學校教授 北澤忠男  
內務省土木試驗所 松本榮

內務技師 佐藤利恭  
復興局書記官 菊池慎三  
東京市技師 山本亨

二 八

三 九

一 二

三 一〇

二 七

一 三

一 四〇

一 四三

一 六〇

一 七三

二 四三

二 四四

三 二一

材料の上から見たる路面の性質に就いて

東京市の悪路問題に答ふ

舗装急語混凝土に就いて

大倫敦の交通對策

我田引道論

米國に於ける自動車税に就いて

街路事業の實行法としての地帯區劃整理と地帯收用

道路改良費に通行税を充てよ

アスファルト舗装混合物改良に關する研究

地帯收用續論

英國道路行政の進化

急硬セメントに就いて

アスファルト舗装の組成比較

「タール」碎石舗道に對する最良なる骨材として如何なる材料を選ぶべきや

路政史の一資料

再びアルミナスセメントに就いて

内務技師 三木巳代吉

東京市技師 建白異同生

内務省土木試験所 稻生鎌次

復興局書記官 菊池慎三

××新聞記者 藤尾哲

内務書記官 丹羽七郎

復興局書記官 菊池慎三

××新聞記者 藤尾哲

内務省土木試験所 山田耕之助

復興局書記官 菊池慎三

内務書記官 丹羽七郎

内務省土木試験所 稻生鎌次

一記者

フルントド・ピル・シレー

復興局書記官 菊池慎三

内務技師 三木巳代吉

四

三

三

二

二

三

三

四

四

四

四

五

五

五

五

五

六

六

三三

二五

四〇

一七

二〇

一七

二〇

四二

五三

一一

一一

一八

三一

四九

六一

一三

二六

道路工事に使用する自動車管理上の注意

失業問題と生産的失業救済

街路受益者負擔に於ける所謂利益に就いて

急硬性鑼碎セメントに就いて

自動車の「レジオナル、プランニング」に及ぼす影響

道路並に沿道の風致美觀に就いて

米國に於ける受益者負擔行政

遞信省用電柱の移轉に就いて

鐵筋混凝土道路

都市計畫事業又は土木事業の共同執行委託執行及放任執行に就いて

縣營砂利事業に就いて

東京市に於ける木塊鋪裝の成績に就いて

簡易鋪裝と青島の道路

アメリカに於ける地方道路計畫の財政的基礎

瀝青混凝土材料に就いて

鋪裝コンクリート基礎工事に就いて

東京市主事 一柳幸永 六 三三

社會局書記官 大野綠一郎 七 二〇

内務事務官 飯沼一省 七 三一

内務技師 三木巳代吉 七 四二

ジョージ・エー・デモン 七 五〇

復興局書記官 菊池愼三 八 二〇

内務事務官 飯沼一省 八 三三

幹事 田中好 八 五二

内務技師 宮本武之輔 八 五九

復興局計畫課長 菊池愼三 九 二九

神奈川縣土木課長 高田景 九 四一

東京市道路局長 近新三郎 九 四六

東京府技師 伴宜 一〇 三二

日本石油株式會社 中村榮治 一〇 四四

明治神宮造營局 藤井眞透 一〇 六〇

明治神宮造營局 藤井眞透 一一 二五

米國に於ける自動車及ガソリン課税に就いて  
 無軌條式電車に就いて  
 倫敦の交通

紹介

岐阜縣神原峠改築工事概況

佐渡の中山隧道

錦櫻橋鐵部架設工事の概要

伊豆東海岸府縣道震災復舊工事に就いて

舗装された函館道路の財源と利益

三明橋架設工事概況

有志者の手になれる桐生市の道路改良事業

震災地豊岡町及城崎町の復興計畫

藤澤町國道工事の概要

富士嶽麓開發の計畫

桑港灣に於ける七大架橋計畫

德島縣門戶の二大橋

道路改良會評議員  
 外興業株式會社社長

内務技師

内務技師

岐阜縣技師

新潟縣廳

群馬縣道路技師

静岡縣技師

函館國油組合支配  
 人函館道路改善會  
 常任幹事

福岡縣土木課長

桐生市助役

兵庫縣土木課長

神奈川縣道路改良  
 事務所長

藤原俊雄

佐藤利恭

三浦七郎

足立藤一

山高生

佐藤三四郎

川勝忍

瀧野常吉

澁江武

荻野欽司

田邊良忠

網谷安次郎

山梨縣土木課

德島縣報告主任

六

二八

四七

五〇

七九

六〇

六二

五〇

七三

四四

六四

七〇

五四

八九

五八

六〇



日本一の高橋

長野縣道路主事 小山平内

一一一 六五

史料

錦帶橋

沖繩縣道路橋梁開通沿革

篤志家の手に依つて爲された道路橋梁の新設改築

足利市に於ける街衢及市街改正條例並改正路線規定

日見峠の今昔

二 六五  
三 五六  
四 六二  
五 八三  
九 六三

漫録

佛蘭西道路の印象

勇退した府縣土木課長

道軌の鋪

其の後の道路擴張

土木主任官會議を覗いて

山陰震災雜記

漫歩獨語

北海道道路改良講演旅行記

内務省神社局長

佐上信一

路政僧

小島效

高田生

田中生

内務技師 岩澤忠恭

法學士 省吾生

谷口生

一 八四  
二 七七  
三 七七  
三 七七  
六 四七  
七 六九  
七 七五  
七 八四

北但震災餘記

内務省に開かいた都市道路協議會を觀て  
塗上失業感

地方長官の更迭と本會の役員

歐米を一巡して

街路樹と街路美

倫敦だより

東京だより

山口だより

宮崎だより

巴里だより

通信

神戸 田邊 生

路政 價

××新聞記者 藤尾 哲

K・T・生

幹事 三浦七郎

小橋亮作

内務技師 三浦七郎

田中 生

七六三二一

一〇六八八九  
〇八六〇九

三〇九八

一〇八九三  
〇五八九三

宮崎縣廳 鳴城 生  
字 高生  
内務技師 三浦七郎

二  
三  
五

九九  
九八  
九四

海外事情

八

〇一〇九八

七七一  
三七五  
九七

〇

〇二

一

六七

二

六七

三

九三

「アトランタ」市の移動式路下歩道計畫

交通事故より見たる道路の構造

獨逸に於ける失業救済策としての道路改良事業

市街設計の基本たる市街交通

「デトロイト」市の拱上街路計畫に就いて

倫敦「ブライトン」間自動車道路

道路並木に就いて

路面維持に及ぼす軌道及自動車の交通

道路安全に關する第一回合衆國全國會議

論 愚 生

法學士 小林 尋 次

### 地方通信

廣島縣道路共進會其の後の狀況◎石ノ巻の道路改修◎大工町車道の開設祝賀會◎十箇年繼續事業で國縣道の改修斷行◎道路網の完成を急ぐ◎福岡市道路鋪裝情況◎神奈川縣縣道改築工事竣功◎福岡市道路擴張

犬山橋の竣功式◎一宮貫通道路◎豊橋松山間道路擴張の陳情◎古鐵橋を譲り受け淀川に加橋◎道路保護申合と青年團の奉仕◎興味を唆る道路費の負擔問題◎井出口橋落成◎廣島吳間道路改築準備◎廣島市内二橋梁の架設◎縣勢展覽會の開催と道路熱◎大平橋應急修理

### 法 令

賃取渡船に汽船を使用する場合通行税を課せらるるや◎渡航設備の棧橋占用に就ては占厝料を徴収し得るや

三 一〇〇

四 七二

四 七四

五 一〇一

六 七九

七 一〇七

八 一〇二

九 九七

一一 七三

一一 七九

一一 八三

一一 九七

一一 一〇六

道路法上に於ける訴願と行政法との關係◎貨取渡船場又は橋梁設置出願と河川法上の手續との關係◎無斷にて道路並木の枝打を爲したる者の處分

道路法第五十三條の意義◎道路に沿ふ溝は道路の區域なりや◎道路法第二條の附屬物

軌道取扱に關する件通牒◎鐵道敷設の爲による道路の占用又は改築に關する件通牒◎軌道法解釋に關する件道路法第二十六條に依る貨取渡船設備の竣功検査◎道路改築と土地收用法の適用◎道路法第三十九條の規定に依る賦課方法◎道路法第二十四條の規定に依る道路工事不完全の場合

公簿上所有者無名の場合◎道路法第四十四條の規定の法理上の理由

事務簡捷の爲にする命令の規定改正の件

土地收用法に依る事業の遂行上道路管理者の許可承認◎公共團體の經營する貨取橋梁に對し縣費補助の申請

道路法第三十九條の規定に依る負擔金徵收方法◎「エスカレーター」出願の準據法

道路法令の改正

彙報

本會理事の榮轉と理事の増補◎本會理事會開會◎道路改良會支部規程準則◎道路工事費受益者負擔規定の調査◎永代橋基礎潛函進水式

幹事囑託◎幹事計報◎道路工夫講習會開催◎大正十四年度國庫補助道路工事確定◎道路取締令改正の陳情◎吳市廣村間道路改築起工式

町村役場の所在地を府縣道路線の起終點に採擇の陳情◎荷車の輪帶幅と道路取締令改正問題◎奥村幹事の計報◎軌道事務取締方法改正の陳情◎内務省土木試驗所の近況

第五十議會に提出された道路改良の建議と請願◎軌道用電線架設手續改正の陳情◎地方廳發行無賃乘車證廢

二	八六
三	一〇二
四	七七
五	一〇五
六	八三
七	一一五
八	一〇五
一一	九八
一	一〇八
二	八九
三	一〇五

止の運動	◎電氣協會の陳情	◎交通機關從業員講習會	◎福井縣に於ける道路保護政策	◎幹事囑託	◎北海道々路改良宣傳計畫	◎内務省土木局長の道路視察	◎完成した京都市街路工事	◎内務省土木試験所の近況	◎道路彙開御幸橋架換起工式	◎荒川大橋竣功式	◎廣島縣に於ける道路愛護政策	◎道路彙報	四	八一																											
第六回定時會員總會並評議員會	◎土木主任官招待會	◎松齡橋竣功上下水道の完成	◎木會長良及楫斐三大架橋の建議	◎朝鮮交通展覽會開催	◎技術者資格檢定試験	北海道支部發會式	◎軌道安全地帶標準	◎鹿兒島縣下道路美開二件	◎島國根性と賃取橋	丹羽内務省道路課長の外遊	◎不會議理事會開催	◎箱根國道開通式	◎京濱國道神奈川縣管内改築工事竣功式	◎全國道府縣會議長會議の道路問題	◎都市道路協議會の召集	◎第五回萬國道路會議開催	北海道の道路改良計畫の建議	◎六大都市道路主務者招待會	◎藤澤橋と國道工事の竣功	◎二子橋竣功式	本會の丹羽幹事送別會	◎田中囑託の榮轉	◎煙火の合圖で交通調査	◎廣島縣道路共進會の開催と其の狀況	佐上理事榮轉送別會	◎幹事囑託	◎平山幹事辭職	◎三浦幹事の歸朝	◎本會調査部聯合會	◎道路改良費豫算維持運動	◎全國各市聯合協議會の建議	幹事囑託	◎道路法改正の陳情	◎工事請負に關する危險負擔の請願	十三都市道路工事費受益者負擔規程	最近道路統計	大正十四年度府縣道路橋梁費調	道路と人口面積の割合	自動車統計	一	一一

附 錄



國産アスファルト製造販賣一般道路工事請負

# 日本石油株式會社道路部



特許ワレナイトビチエリシツク 舗装施工



東京丸の内有樂館  
大阪西区江戸堀南通三  
下関岬之町  
小樽花園町东四丁目

四月十二日